大手鑑

聖武天皇

其母篤而不用之便問之曰汝
前来時被母教勅好衣美食曰
照明鏡其事云何御可說之兒

光明皇后

讀誦方等恩大乘義念力強故得見我身又
多寶佛塔十方分身無量諸佛普賢菩薩文
殊師利菩薩藥王菩薩藥上菩薩恭敬法故

聖德太子

遣七寶
蓋寶被
雜色樹常有華
國洪善薩志念

後鳥羽院

海原の

家隆卿

後嵯峨院

亀山院

伏見院

後伏見院

後二條院

人くちのくうち
みしほく
志はしきこゆるは

花園院

なれしくもあはれ
かしましてく
とれしまれひ
むかしくさしき

後醍醐天皇

宇治御幸
ふりあらしのそまの花さくの
なかをかやる人くるらむ
御觀ら葉より葉よりくさ
てまちせかなり

後圓融院

はあすかなにもの
ほえとふるれ
ことなかなく
ものたまこ
花押

九條殿兼實　　三月輪線定下

同後京極良經

おしなべてもる
るるけふころ
もるしすらん
夜

やうやうしも
のそ
の波よ

家鶏飲已盡村中無酒貰空
愁今夜何詔一佳客少不相南

一條殿兼良

二條殿持通

一向道家

勝定院義持 ㊟民部卿也

奉後鳥羽院勅新古今撰者内也

久我殿通具

同通親

大炊御門冬忠

一宮守貞親王也本紀見

今出川殿公顕

甘露寺殿資經

いまこむといひしばかりに長月の有明の月をまちいでつるかな

長月の有明の月と[illegible]

日野殿資光

あやめくさ[illegible]

一条[illegible]

同 資廣

路若草[illegible]

万里小路大納言宣房 宣房父太平記ニ入

善學菩薩道不染世間法如蓮華在水從地而涌出

同院三條殿實躬

春月

[illegible]

待花

[illegible]

同 實繼

[illegible]

後悲々

内裏歌合　寛和元年八月十日

歌人 伊周 秋也 隔

寛和元年八月十日にうたの上にて

歌合をちき給はうまた花申将公に

をりて物むつをみつもりて

源明賢卿下

なくなくもおもふ計はあさやまらをうめつることよのくるを

かもしかの声

後悲々

奉後白川院勅撰集撰者

奉後鳥羽院勅新古今撰者内也

奉後堀川院勅新勅撰　撰者

京極前門

寂蓮法師

しるしのうつつとあふさかにおくるさもちる

ゆふもみぢしぐれをのこるしぐれ

あこぎうらにおくらかねたる

けさよりもいろいてそや

中納言家持

伊勢

よるのうらにおくらかねたる色よ

奉 後二條院御時勅撰後拾遺撰ス

同 二條院内侍

同 慶融

同 定為卿

同 為世

奉 後二條院御時勅撰後拾遺集ニ撰之

同 二條院内侍

冷泉殿先祖為相

同 為秀

常野高世

同 慶融

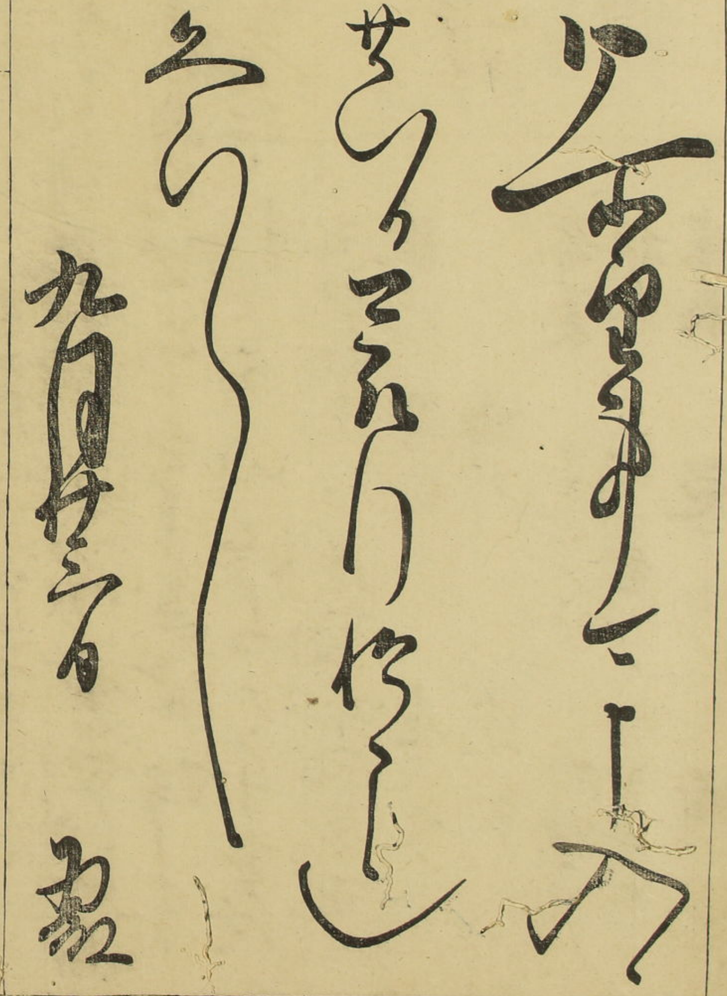
同 定為卿

同 為世

嘉門院四條局阿佛

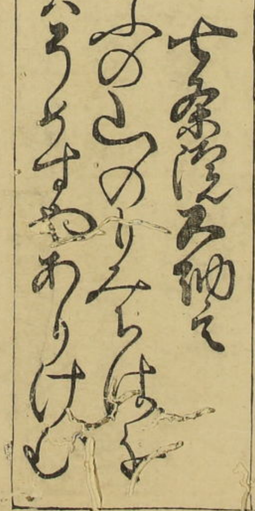
新式目作有

同 為兼

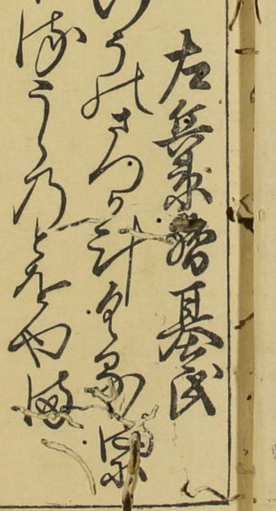


同 為重

奉 後鳥羽院勅新古今撰進撰ス



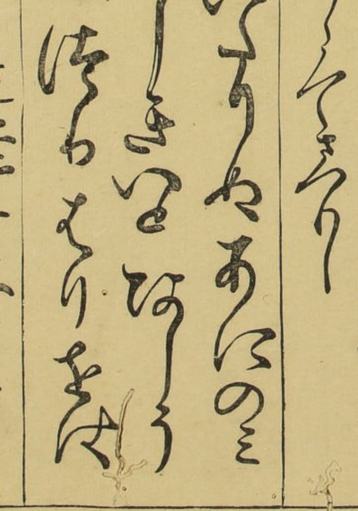
同 為右



飛鳥井殿 雅經

新古今撰者内

同采女雅門女 一位



三躰和歌 建仁二年三月廿日

題 讀師 左大臣

講師 宣家

春夏 勇ゆく

秋冬 かりも

戀 名ばかり

江州海津上尾山天神宮寶物之内紺紙金泥之法華十巻一部并心経阿弥陀経存し

菅家

妙法蓮華経序品第一
如是我聞一時佛住王舎城耆闍崛山中與
大比丘衆万二千人倶皆是阿羅漢諸漏已

同

摩訶般若波羅蜜多心経
観自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五

新心経阿弥陀経筆躰少異ヨリ二色押ス

佛説阿弥陀経
如是我聞一時佛在舎衛国祇樹給孤独園

高辻殿長雅

手鑑見

[illegible]

油小路殿[illegible]隆

織[illegible]宮附一[illegible]
識之[illegible]
建武三年七月十[illegible]
[illegible]興福寺別当[illegible]

世尊寺殿伊經

山風雨時鳴風暗野亭
蘆邊遠月閑　直秀入夜催
同前順

同　行能

位家三ノ三首内

同経朝

万里来来
何春日一
生西望是
長楽

同定成

水宿雲猶湿
残沙月初
暮林風細

源重之

同行尹
従家三位卿

同行忠

清水谷殿實秋

小倉殿實名

橋本殿公夏

平松殿資高

六條殿有忠

宗尊親王

一品宮義成

勘解由路殿尊詮

トア寒一恵

なりにきのてのきのいをうつ
もーけくもひとなりつる
このうはかつまよてそよりを
そうなむ

かれゆくきうあのふりめやい

七夕よめう　後朝大夫顕季

あまのかはなみたちいそわたるらん
なくうそをそくもあのみをゆくよ

梶のとつるれ船のみちうあさん
さうよて七夕後朝の心紙よめる

春蔭蔵

秋はいまのそのやまのみ

津守国冬

同四夏

百首哥奉中小黄門家経深心
ちらはなえちひろせうたふなる
つはさるのまをふまをにいのめむ

頼業法名大原三寂内
寒一紙

和漢朗詠集作者
四條大納言公任

鳥下緑無春苑寒蝉鳴芳菜漢宮秋
七年異例腸先断不是蝉悲客思
来聴不愛管絃後

藤原基俊

新家隆の切なる年ごろ
申しつゝ出家遂げ
ばや又月利一及一両日
三以下生拙判ずる
一生之押

詠百首和歌

元日宴　家隆

花明上苑軟軒馳九陌之塵猶宮山社月澄
いつしかと花も匂ひぬ春の夜の
おぼろげにしもあらぬ月影
もろ人の心をかすむ朧にて
なほ残りなき春の夜の月
餘寒
さてもゆるすぞなのもしき
このもとに冬は来ゐるうぐひすの
なのみもしるき春の初風

江刕竹生嶋常行院堂海錄為宿坊大色々井法華經宿物也
昔一部八巻内二巻乱世矢却之因四巻高野山ニ送ル今弐巻相残ル内也

弘法大師

同門弟
真済

妙法蓮華經勸持品第十三

尒時藥王菩薩摩訶薩及大樂說菩薩摩訶
薩與二万菩薩眷屬俱皆於佛前作是誓言
唯願世尊不以為慮我等於佛滅後當奉持
讀誦說此經典後惡世衆生善根轉少多增
上慢貪利供養增不善根遠離解脫雖難可

尒時大衆自相謂言大覺世尊前已為我等

傳教大師

叡山ノ燈切

所住故非开記故所以者何以一切

識住者起者不可得故舍利子乃至

聞乘本性不生一切獨覺乘大乘本

智證大師

文治三年寺ヨリ申請大達磨一軸

性空與佛十力四无所畏四无礙大慈大

悲大喜大捨十八佛不共法无二无二分故

慈惠僧正

已告諸茲苾前是創制此是隨開若

有難緣不須囑授是故我今為諸茲

恩養

知節度行來无忌其中持戒比丘我完具者

慈覺大師

我所見我之所念入山中如我不

親鸞上人

光雲无尋如虛空

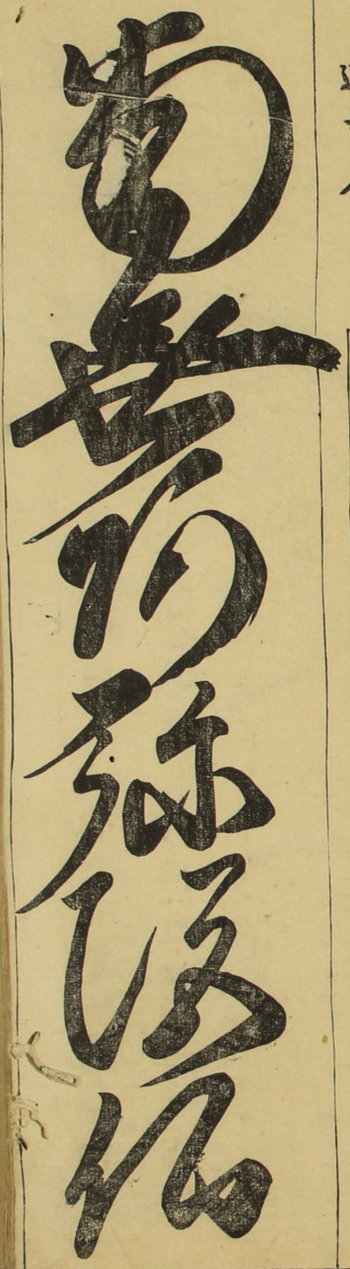
一切ノ有礙ニサワリナシ

光澤カラズモノナキ

難思議ヲ歸命セヨ

八代目御文ノ作者

蓮如上人



一右御筆書消息

日蓮大聖人ノ遺筆

年齢年十七

貳冰上

六月晉

本代沙門

慈鎮和尚

太平記庭訓之作者

玄惠法印

名寺庠主

果寺

自問何時恨曉鐘銀釵不勅侍董龍
尋常一擬長門月有乍忘心便不圓

青蓮院殿尊道

多年之奉
意除紹母
宝々誠恐謹

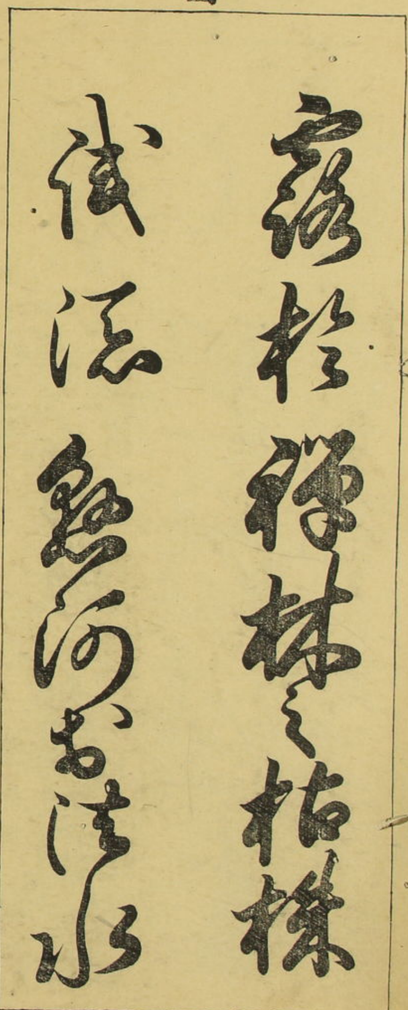
卯月 日 権僧正

青蓮院殿尊道

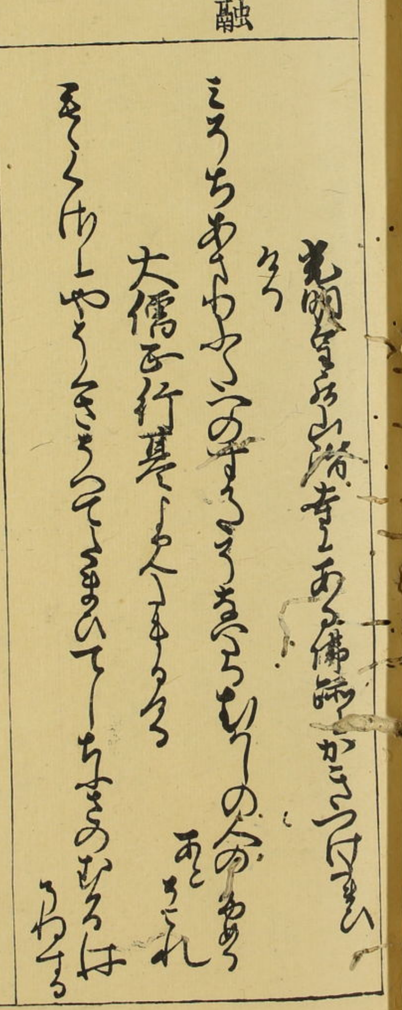
筆
風

仁和寺殿守覚

同道圀

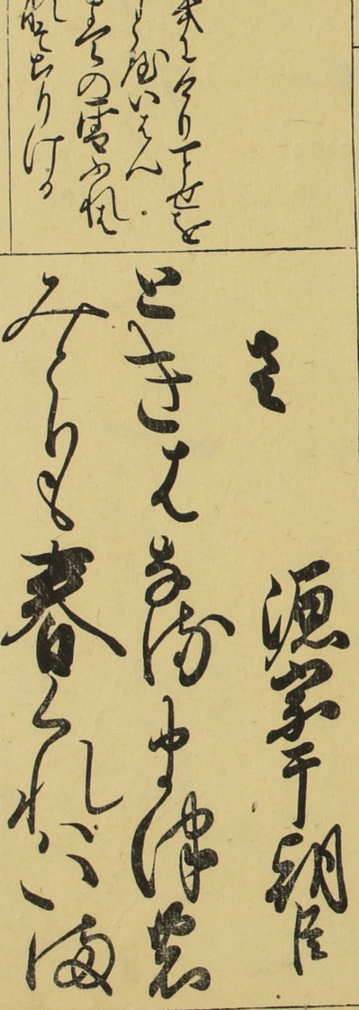


實相院僧運



古今歌板書

春



知足院入道

耶馬河の北濱うち
河東水脈祇元了
享文
山ノ向ノ三六達摩禅本ハ真二
カハリ

一志他事那約束
苦ノ一重ハ二重ハ
初ノ縁ある事ハ
うつろへる花なれそ
みれ
ちる花乃なくふしそ
典侍 修子朝臣

後宮伯耶

阿弥陀像厨子
奉供
弘法像 ヶ両度
須摩像 ヶ両度
諸神像 ヶ両度
奉念
伊服真土ヶ迎
吉田真土ヶ迎

大德寺一休和尚

三代作者
兼宣

光家（服部學衆 法名 光佛）
光継（左馬助 坊衆 法名 光喜）
光春

一休の筆

墨斎

同實傳和尚

這風顛物活稀輪
三玄三要絶比倫
斷際正宗徧天下
還他閑五逆雷人

真俗宗真拜讀

七寶瑞泉三玄院
多年宋海秋嵐齋
天甘忘老喜眉根
芳名列門頭墨客
雲堂塔 宗彦

仲

同古岳和尚

是真是俗七縱
八橫若問端的
乃雨不晴

前大德

大林叟宗套

同大林和尚

天澤深誠清音禪師欽其如麻栗徵高
高手魚我民臨濟正傳真大法持之遠
素域作梁津寓公不啻若株地

同江隱尚

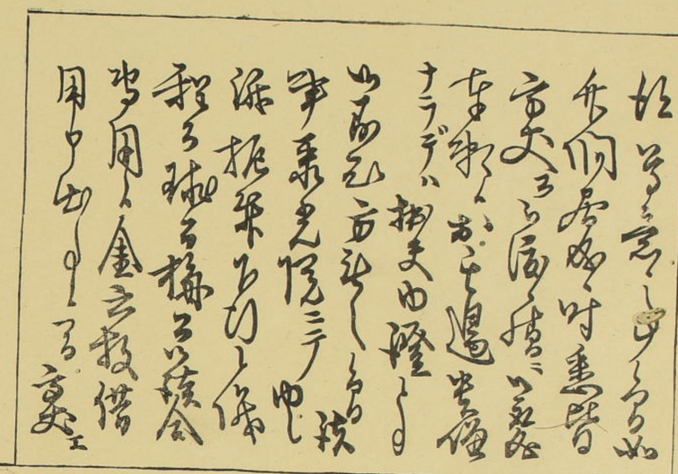
同春屋國師

滔滔一片來修帝法禪
一句子不圓

前大德春屋叟宗卷

畫手三玄之室

同一康和尚

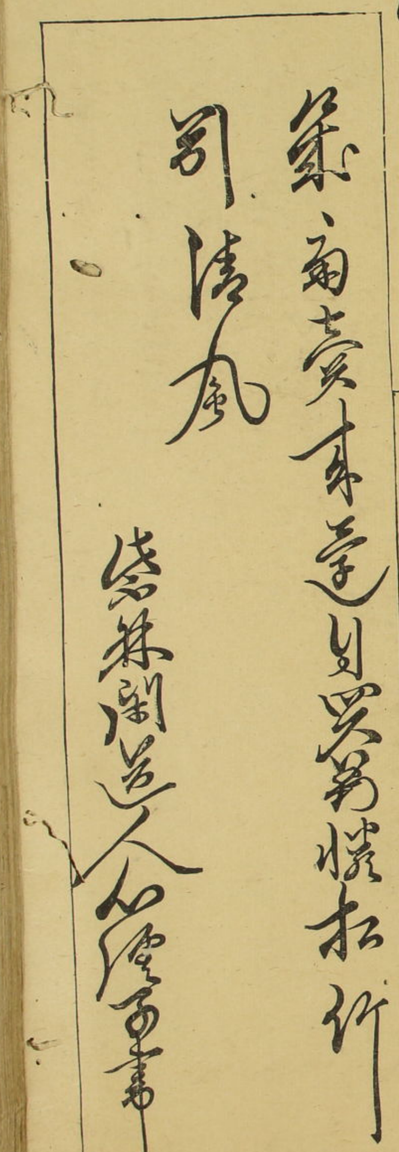


同 玉室和尚

十方同參
箇と学者
斗量選佛場
仏史及第帰

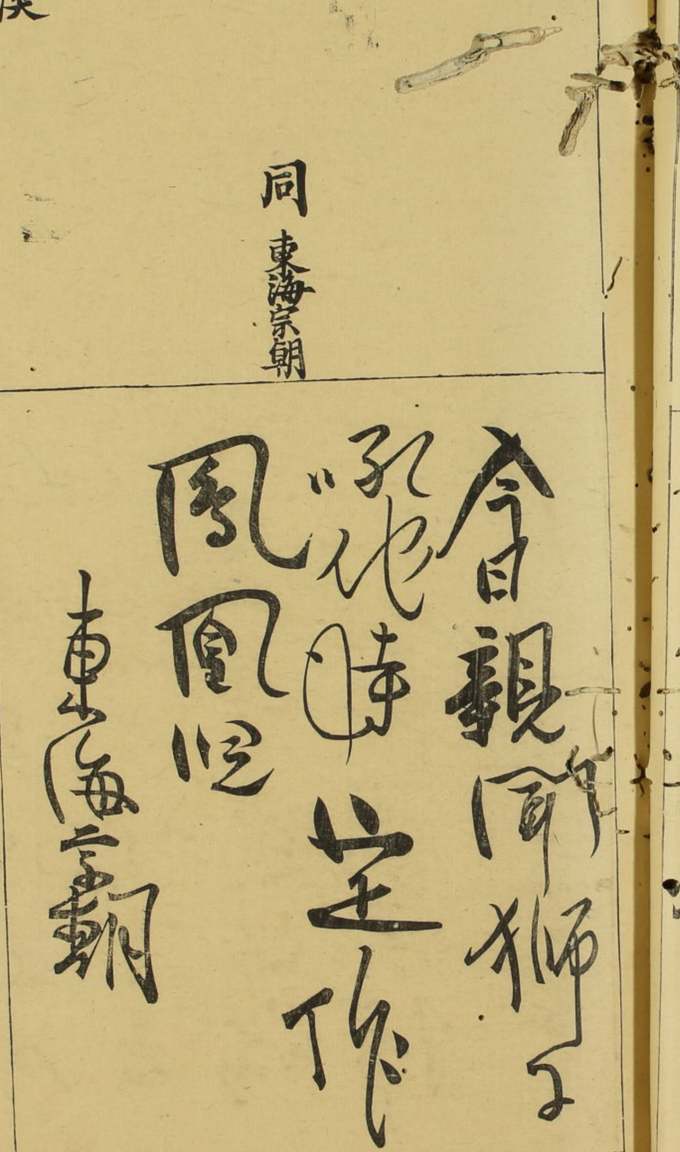
陸放翁書

同心渓



策勵諸道人公庭事
同清風

同 東海宗朝



今日親開獅子
乳時笙作
鳳凰吼

東海宗朝

同 仙岳和尚

殿下お亡き後の御
五箇條御誓詞
素元禅師

唱和正字金亦勲

景光石炉天

寄稿者 虎関和尚

同世尊成道
和尚かれ年を
かぞへたまひ
たるを見て
なりとて

和歌 落葉新入門先求の竹春
倫崖

建仁寺古澗和尚

同龍吟和尚

今夜蓬窓雨
窗人聴雅音
三秋茅店月
有友夢相思

滿山未泉云元衍脚
高士密須臾
堆裡睡眠
色堆裡堂即
玉奇古洞深

夢窓國師

天龍寺開山

周防白香積寺開

石屏

心即佛便挍作尋学說話不承個底三行乾屎橛丈林山下竹筒鞴以至釣絲

中正蔵主

移錦石通三

小野篁

汎到海洋上尾山天神宮領地
今鉢形王両面ノ段ヲ法華経ヲ有
一部ヲ乞始終筆ヲ染ヲ施ヨリ之ヲ
平安年号弘仁師九ノ条相同今有納ノ

妙法蓮華経序品第一

如是我聞一時佛住王舎城耆闍崛山中與
大比丘衆万二千人俱皆是阿羅漢諸漏已

佛說觀普賢菩薩行法経

如是我聞一時佛在毗舎離國大林精舎重

桑濃佐理卿

同道風

世尊寺行成 永三十七又三年之内

源二位頼政

卅種謙下事切紙 七帖具足箱
二字六丁讀私版択私本紅雲書
為秘蔵故自一品之内宣別処自
愛三千歳之夕

網代 楚

詠法花経二十八品和歌

序品

権うこの経を説かんとするに

富道親元

本曽義仲内大臣坊定明　赴元上仁寺吾提此諸薩行一一於彼彼諸吾

侍従乳母

蒲原す

武田冬元信

東野行未子

素佩

建部宇翁

昆三廣

初春霞

一　二　三

月旌

改道二

冬屋

淡雪

餘花

祝言

あひ
そ
吉野乃
みそ
き

江帥殿

江島
暁萩
しの
志め
き

同

釜
そ
待便恋
ひ
は

同

三藐院

ゆ
和

同

九條殿植通

同忠栄

同

二條殿

同

同

同

同

同

一條殿

萩露　一首

暮序　未

同

山家　おく

暮月　いそ

五方　尊氏將軍

慣用　一首

同　慈照院殿東山殿ト頌後寺門院

契恋　る

同　常徳院殿

おも

同　義懐法師

久我殿

同 具家

西園寺殿

同 實晴

須弥廣

同 須弥弁雅賢

同 庚流之滑

同

葵　まてみ
二葉よりそ
ふみなら

同

長橋　ふる雪に
まちくらす
思ふこころも

同

神楽　かみ
なの
ふえ

同

夏草　花さかむ
ころをへの
もと

同

遅日　ふる雪の
消ぬまも
いく

同

落葉　ふる
もとあらむ
秋

四條殿

逢不會恋　涙
おちひこう
逢て

同

寒月　梅
ふる雪
ふる

同

山科殿

同

同

日野殿

同

同

同

三橋

同

春の流遠

廣橋殿

京極

同

春村

みな

同

薄霧

網漁

同

水鳥

同

頌 花鳥并祝意

松月

雨

同

藤行

總光

同

汗衫

同

風

同

逢不會

同

戀

同

春月

同

折梅

同

宣教風

同

小幅山

甘露寺元

同

紅梅頭

同 沖汰ム

深夜萩

同

雪花

同

歌頭

同 摩流

雪秋河

同

池藤

同

松下

網凍

葉室殿

同

寒草霜　花さそふ　あらしもいまはなきものを
　　哉のとや冬ごもりせし庭の雪

同

海邊松　風かよふ　音のみ殘る　浦波の
　　立ちゐる度に　昔をぞ思ふ

万里小路殿　頭後善門院

見戀　見てもなほ　つれなき人の　心こそ
　　うきにそへたる　形見なりけれ

同

雪月　ゆくへなき　空にも月の　影とめて
　　風よ雲よと　ながめそへてし

同

春月　春ごとに　ながめし月の　ゆくへさへ
　　なほ面影に　かすむ夜の空

同

眺望　久方の　月夜の空の　ながめやは
　　森の木末の　ほかに有りける

同

萬葉　袖を濕さ　いとのみさへ　萬葉の
　　なかの手ごとに　なげかせてける

勸脩寺殿

朝晴　去來の浦や　松風の　音もまばゆく
　　見渡せば　流れよせくる　蜑の釣舟

同

夕雲雀　春さむき雲ひとつ
こゝの綿をや織るらん　顕

同

垂柳　糸ゆふ風の
吹にたえてや
まつ乱れけん　鶏

同

野が
雪物
もう春の雪もみえ
むらまもこゝ
ろ解れ事も
書

同

水鶏　柵戸の
ありそうな
戸を
叩く
晴石

同

五月雨　雲
雲の
ゆうべ
晴豊

同

萩風　そ
風の
書豊

同

高山霞　
霞
書豊

同　廣紙

雨後蟬　
蟬の
鶏

中御門殿

同

同

同

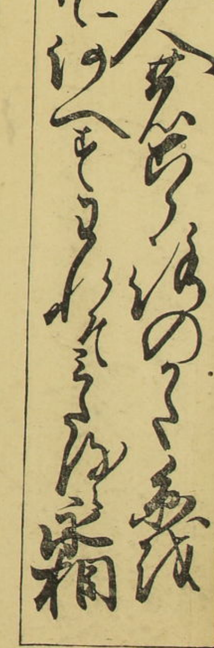
同

高倉殿

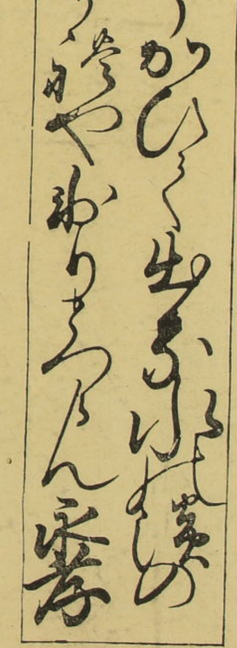
岡 水家中納言

同

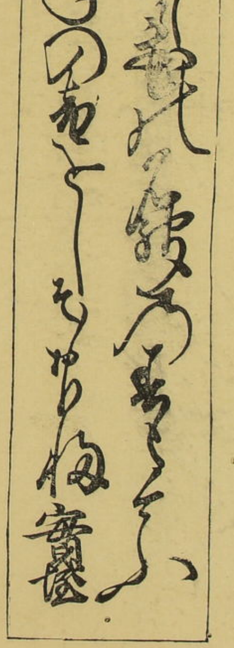
同



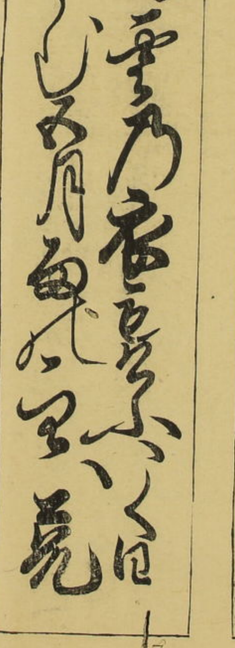
同



同



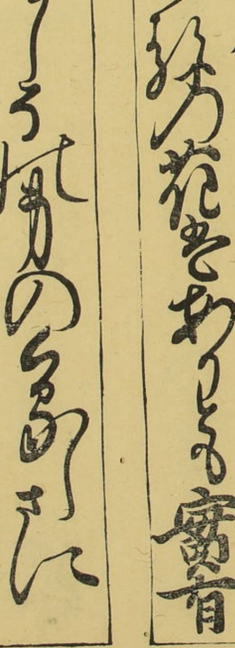
同



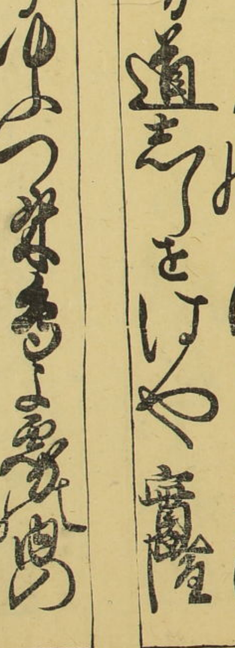
同

同

同



同



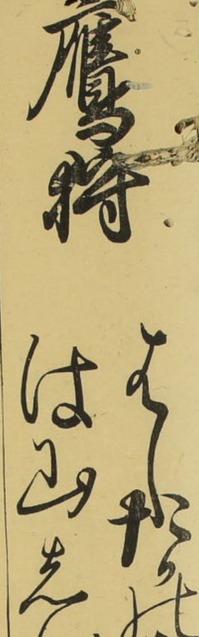
同

同

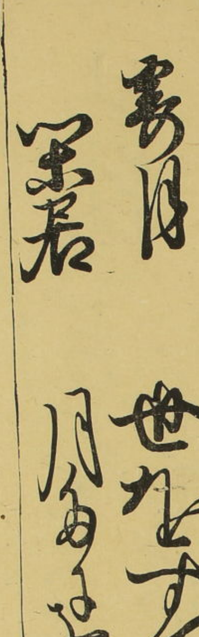
同

正親町殿

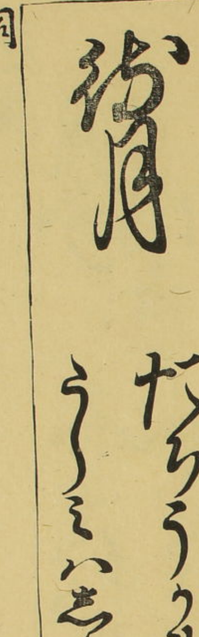
同



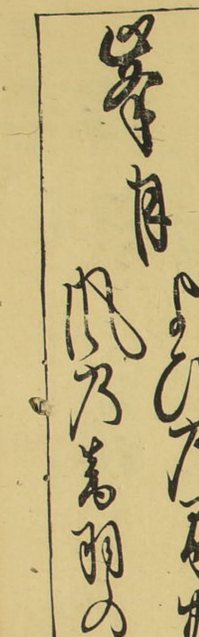
同



同



同



同 庵原

澤田

秋夕

四辻殿

月前

同

萩

同

春駒

同

水鳥

同

關霧

同 庵流

里擣

同 沖息

夏雲

滋野井殿

同 頭 右衛

庭雪

川猪殿

長深

水左衛門殿

頭巾

海霧

同 兼後

同

雲間

杉本名

原三

同

夏杜

鐘

同

秋迎

同 宗房改名

庭寒冬

同 特明改名

山寺

同

雪切更

同

雪雲

同 基元

同

暁　しぐるなり　おのがとを
おいそめてくるる　こずゑの
　　ゆふべより

同

立春　きのふ今日
　　かはる　みどりの
　　　色ぞ　ふかき

同

異心　なびくとも
　　いはじ　ゆふしでの
　　　神の　こころは

同

暮春　春もはや
　　かぎりの　ゆふべ
　　　山ざくら

同

浦霞　あまのすむ
　　浦わの　松の
　　　うすがすみ

同

海邊眺望　いそづたふ
　　あまの　釣舟
　　　ゆきかへり

同

初戀　こひそめて
　　おもふ　心を
　　　人ぞ　知る

同

不戀　思ひやむ
　　ものとは　なしに
　　　ながめ　わび

同 沖つ藻は 頼名廣

寄木 長忠

土くれくれ

同 乃和清良

月のおぼろまで

梅ちるあとの庭の雪

同 藤谷友

苔為 レ女子のかけ衣とふるふる

石衣 君木の上乃苔のころも高賀

ゝ 北条友

秋田 小野山やまき稲乃穂ぬる

わせ本の穂とぼしも

同 霧中

遠日 三もと佳つゝ秋ぬえさめぬる中ハ

さらまの活乃たちわかれ 一蒼

同

弥か 墨色 ふしのあさ霧の袖とみせても 改過

同

久恋 我なうゑ

人まつ

二條家

羇旅 こゝもまた野辺乃秋風

同

初雪

同

中山寺

回廊

潤雨

同

六月雨

同

雪を

同

寒田

同

猿

同

寄法惠

同

湖眺雪

同

[illegible]

同

[illegible]

同

[illegible]

同

[illegible]

同

[illegible]

同

[illegible]

同
隣梅衣　美はたくむもゝ中ゝ
色ゝくゝゝ衣川こゝ　雅賢

同
春原憩　月日ゝ
かゝるゝゝれゝ　むさの籬

同
一筋の　こゝ野菜の
水ゝく　ゝーやゝ　常ゝ云

同　雅昭賢
船中月　月みゝて
そゝふゝし　ゝゝ　ゝゝ

同
杉ゝなゝ　ゝゝ
ゝゝを海ふ　ゝのん　りゝ

同
床夜　世ゝ
ゝそゝ　ゝゝ　翁

同
ゝゝ
七夕　いゝ
ゝゝ　ゝゝ

同　二楽斬
野径虫　二ゝ
ゝゝ　ゝゝ

同 雑興六首

地儀元ゝとして
おのゝこゑ

同 同所懐

不遇意 汀まそかに
をよう

庭田友

山家 人ものゝらつゝ
いうそうくん

同

石瀬社 雨
つゝ

同

旅宿 かの
鴻雁

同

菊 仙人
ゝ

同

序思 誰
ゝ

同

卷早苗 早苗
いそく

同

里業

同

萬

五ノ反

離菊

同

露

同

山家

同

榛衣巫

中ノ反　頭ノ反

歲暮

同　也是所未安業　延所西三條實淂也

同

同通

北畠殿

秋の花さまざまに高砂の
をのへよりもてあそぶ哉

同

黄葉　秋いまは
ゆふべの風も涼うして
木ぬれうつろふ晴夏

同

万里窓　おのれ猶
うき方なうしてうらまし親顕

白河夜

石瀬杜　かくしさいくせうりたよの栄み
なるさと山寒
ゆふべいやしん　忠富

同

蛙鳴　ふる池水にかはづ
前代　多き田なかに声
かしまし　雅業

同

惜別恋　わかるかなしき
思ひをも馬もこえぬうと
思ひをそへて　雅朝

西園院殿

きみ
まやさ
九月末の
時頼

同

遠帰鷹　山ふかき
くりかへす
わすれ初めし　時慶

同

四家雲 風

いふ

同

山鹿

歳分

友筆

同

家月

易意

月

同

月雲 秋

高注文 中野三練ノ許流

鶴有四

皓鬢

同 分注文

霜

五條分

水

冬月

同

東坊城刑

同

同

同

同

同

傳法輪三條殿

同　公卿沙汰

淺　秋と、海原遠く雲ぬきんで、
　　叫ぶ雁声もそめもやかりそめ禅空

同

五月雨　谷水をまねく家毎に
　　乃ち井もそこなく青苗多し　實香

同

蓑蔦　百草の花もる神こそ蓑や
　　毛ものの咽いけん時乃ち簔　嶺

同彩　菊の井を推窗

杜月　作ら窗月老のさよふけて
　　杜の木影乃ち友だち　實秀

同　二位殿

一　忘
　月　身そつれ神とまみえし乃ち
　　みてまなる月のやどり　それ

高倉令

淺茅生　雨のもるおひそめ
　　とりかはし乃ち生共とり　範音

同

暁雪　いまはそて我も古巣を捨く去
　　谷うれしや空乃色彩　範

驚令変

海路暁望　ゆく雲の浦ゆ浦をよわれ
　　浦ゆ浦をよわれ　隆康

同

雲雀　暁雲高くたなびきしのゝめの空雲雀
なく里ゝを見そめてゆく　隆嵩

月

逢戀　うれしさもつゝまれぬ夜の袖の
とけそめしかひ　素純

西大路今冬

寒屠也　儀く往来もまれそさく花と
雪ふりしく春の暮　秀盛

油小路今冬

海邊雁　浪静き難波の江より雁金の
霞渡る春の曙　隆量

同　隆井本

一　多ちかた
人よこゝろ

清閑寺今冬

寒月無　月すみてうらさえわたる世を
うき雲のはらふ夜半の風　保房

同

野月　秋風の雲よりいつる月の雲に
ふきとゝのへて　保房

海住山今冬　題　後花園院

紅葉盛　もみち葉を
秋の暮　高清

高倉宰治郎

草宅　さりとも
　　ねぬ夜　なみだ

婦少政房

竹　　おりおりおもてしるは　永宣

同

園霧　　夏花の
　　やうにさ　雲より也　満継

世尊寺家

雪雀　　春の野を
　　と鳴雲井　行雁

同

鶯見　　なり初
春月　　谷よとや　春乃野辺　無頭

同

早橘　　ひとつ
　　夢なた　彩の橘　公福

同

　　いつはて
　　なりしく　おり琴　公業

同

松　　浦
　　住　公親

清水公爲云松

小倉爲頭爲廣

春雪

山桜

月

榜本爲

時雨

平松爲時庸

藤

同

藤花

同

高風

同

寄水

同

同

河花　水よりもいでくるはの花のいま
　　物うちかけてみるのやま川　基福

同

春松
　年久
　　手をもつて松のむれたるまつかげ
　　ゆくすえたのもし谷川の流　信弘

同

遠夕立
　　ようたのもしう来る川雲乃夕立見渡せば
　　行沼多　遠山ちかく雨ぞ降りける　重富

同

秋花　おちんのいのこの花を折てみん
　二茎のかぜ吹ぬまに　徳翁

同

夕月　あかりしめすよりもはやく
　風吹てよりのぼる月影　鑒

同

祈願花　神うさや花乃志るしの山乃すそ
　　花乃志るしの宮乃白地　資敬

同

寒雲　おもひてみし月よりも
　雲ぞ多くて
　　なほ冬ごもる野乃草庵　松窓

同

落葉　かぜのまに〳〵
　　ちりつもる木の葉をかきもせで
　　ゆかりをこそは掃ぬ庵哉　曇

田向氏

更衣　友衣さそふかぜ
六條后

君　入かわる夢や月やその霜　有廣

同

若菜　横雲のくらくかすめる月の
春曙　うすもみぢしも賀の山越　宗祇

同

陣春雨　濃き薄き霞の帯や春の雨
曉　ぬるる袖にも乾く間ぞなき　宗牧

同

苑鄭　梅ぞ香の
當坐　さそふ水ある軒の
後花園院御會

同

竹鶯　いとど遠竹うぐひすの
声をうらみて宿の
同

孫恭　思ふこと
とてもかひなき
同

有乳山　峯の雪
松の

同

荒屋門

同

初花

同

廣寒

近村

同

寒梅

流す

同

恨郭公

同

白雪の

同

梅の

寄草恋

逢坂花　はるをへて来つゝ馴れにし
かつらきやこゝのへ〳〵　森穀

笠　てもまたぬつゝ

梅花　梅花匂ふ春辺に
そゝく人住ん　貫清

嶺頭鴈　明ぬるか

高雪　

呼子鳥　

湖月　

花似雪　

裏辻斎宇福

千種殿有能

堤歩行吟

山石舎殿

舎楷吟

孟生官務殿

同

荒木大賢 参友

石花 山さくらそれにゆかり
なきものゆゑ

古市門友

霜曙 風ちぢに物乃多きを
落葉 吾ひとりかなしき庭乃芙蓉

同

春月 春たつ月のうつりやうらん
おなじ夜乃秋よりも新しき乃芙蓉

佐羽野李顔

花浪 春浪やものゆかしげなき谷ふさ
立ち二旬く晴汐乃景

蒜沼友

山川乃あさましくやとかまし
きつゝなき波のたゝるうら乃風景

鳥井嶽友

冬枯 はるをまつ
わび草乃ふかうねもと

同

花 月乃さす多もしらぬ
霧

近衛府　丹波国住九歳頭部統治二人　後人不考内也

近衛府内生姿気好了

連峯　小女房

暮雪

同月

恨遠山

同月

葛蒲

梅風

二條殿内　官務　須　元鳥井友雅庸

野旅

平四条　元鳥井友季推内元

首夏風

速水筑前守

千島

同

同

同

同

捉芳洲の江

同

同靖庵

同

夜旅　峯の雲へのあらし松
夢もとうやこのうまわるる　嵐

妙法院宮

閑郭　もろ
さむふけて松と梅とり景氣

同

松雪　多
雪もつもる成あり常嵐

同　光悦

菊句　いく
菊のなしまに

同

庭苔　松の根
まめり乃義後

同

春雜　當
聖人堂　雄業

同

里梅　籠
梅の

仁和寺宮、一雪ト云

菊花　
菊花

同 真安院

同 院家

同 寺家院

同 本寺宮 郎之の廣

同

同

同　道光

秋月

同

春暁

同

寄友意

同

夕愛意

勝仲俊卿

雪

朝

同　若王寺別当　今河民寛法眼

郭公

寶相院殿　義尊

我

竹内清之助

山花

山桜さくら花はそれとあやめも分わかぬ夜よの曙

同

松風

たえ絶ずよりそふ琴の風かけひの水も松ひゞきかな

同

鶯初恋

鶯も初恋しきや又移ふ花の色香の曙

同

摘菜

野もせ原を摘つむ菜の花見かぎりなく咲さき続つゞきて

同

横笛別恋

あはれとも思ふ心の通ふ笛みやこの月もむせび鳴らん

同 備後 福山藩 阿部侯 御門跡

雲雁

秋の空かりがねわたるおもしろさ雲の帳とばりを破る実景

同 常尊

霧

霧しきる野もせをわけてかりがねの雲路にたどる秋の夜の月

奈良 一条院殿

秋

桐ひとつあるじ顔なる秋の雨

同

述懐　すぎうき世よりめやいまつ公
　　祈兄の床清なるひめり也行賢詠

同

　　金子ゆえて秋やさ神の
　　そまぬ海とそ音参らん兼勝

同

夏寺　君待の陰乃多ゝる木乃
　　あこ忘雲礼寺もんとり大慶乗

同大楽院会

梅雨　あ乃名残
　　よまさりの
　　ゆまみ乃
　　ゆ乃
　　ゆ

同東大寺尚宝大

松月照　雲れ
　　なの
　　ゆ

同松東院会

社頭花　峡
　　花

同

久恋　
　　風

同 與僧于僧

同一毫友坊宮

同 主殊一主徳

同 菩提山僧正

同 七十

同 廿七

同 廿七

同 廿七

同 廿七

同

同

同

同 角寺連歌師

同

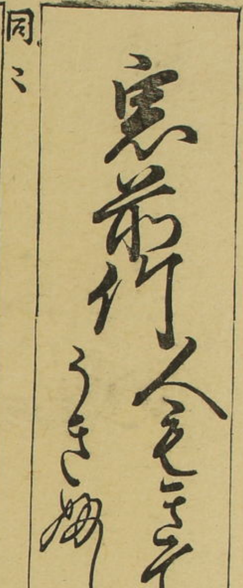
同 若宮社家

同 春日社家

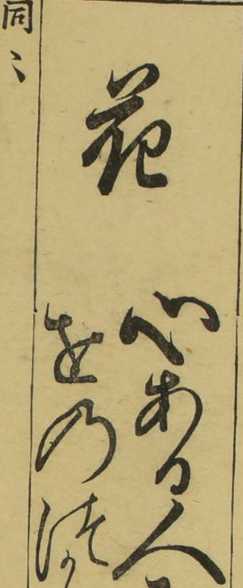
同 東寺衆僧

同こ

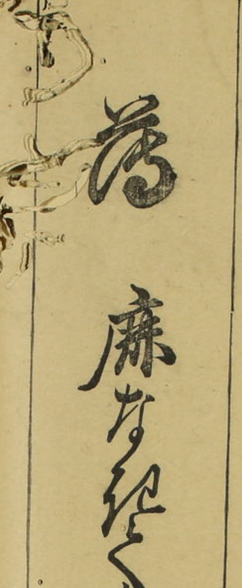
同こ



同こ

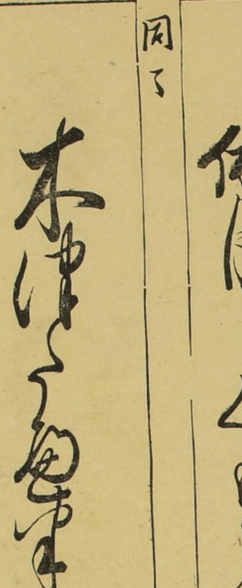


同こ

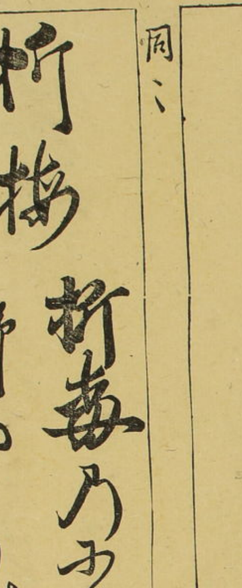


同こ

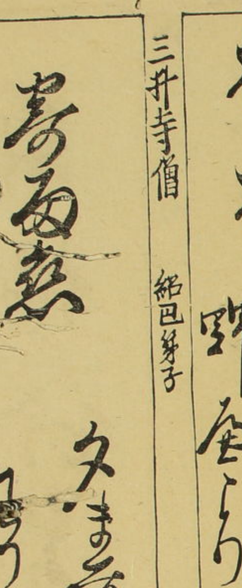
同こ



同こ



三井寺僧　紹巴弟子



安位寺殿

春

[illegible]

積善院殿

春雨

[illegible]

尊雅

定法寺殿

櫻花

[illegible]

西室殿

山河

[illegible]

[illegible]

山家

[illegible]

同

夏 御裳濯河

[illegible]

加久義元

浦雲

[illegible]

大徳寺沢庵和尚

大智

大智

[illegible]

天龍寺集雲菴

折柳橋

梅雖妻の妹

旦那改名為杉柳伝他雑恨一條ニ

相國寺方杉庵

淺妬無恨

同

梅雪

書窓

別後の

同鑑長老

戊寅試毫

昨雨漫形

南蛮缺吾

梵釜和

吉岡堂塩尻内子

須八條及知恩

客路經過水又山妻ヽ清歎一庭閑

前南禅寺大恩和尚

霧旅亭看月數

斷腸幾想像當年放白鴻

顯吉

東福寺僧

牧雷

閑說牧雷破

夜来殿ヽ

走仁寺僧

龍山賞雪

賞雪移山

朔風千里

春挽

雲廟庵も　半雪齋半陰三月廿雲與風秋乎芳詳
我無礼幣捧貢到　花錦雨絲神廟前　順春

醍醐僧

芸

勧脩寺宮

海霞　神代よりかすみの色を

隨心院

よの常ならぬ神のみひかり

三　鷺

山僧正

都月　梵

東叡山大僧正天海

てもにぬをこそうちはらふ

つきもいでまちつるかひ

叡山元昌立香院

そのものを

不斷光院

初物　淺草寺ニ海ふかき

成ヲキリテ有

三井寺佛地院後

野辺嵐

同持教

池紅葉冬

大清院後

暮山

真言宗

嵐洞暮

東寺金勝院内

山家

八幡

草花

若狭

同新善坊

懐舊

同松花堂

悟道

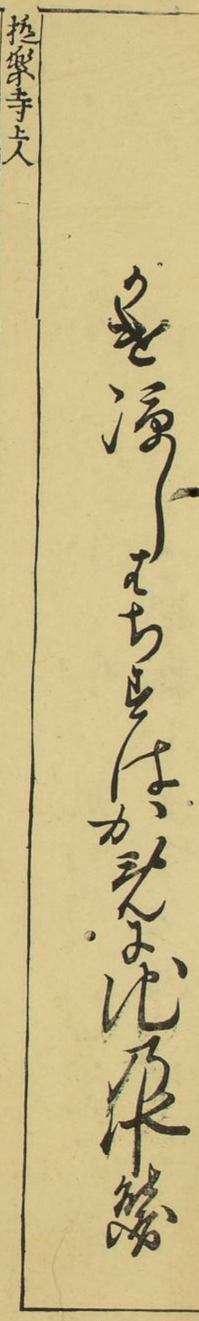
女郎花

真如堂僧

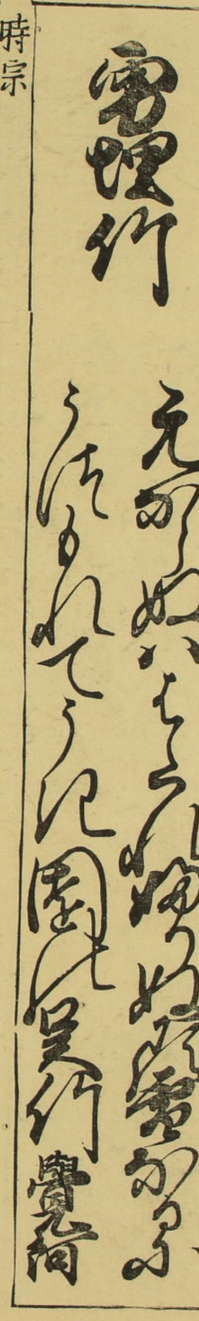
人教

千

同

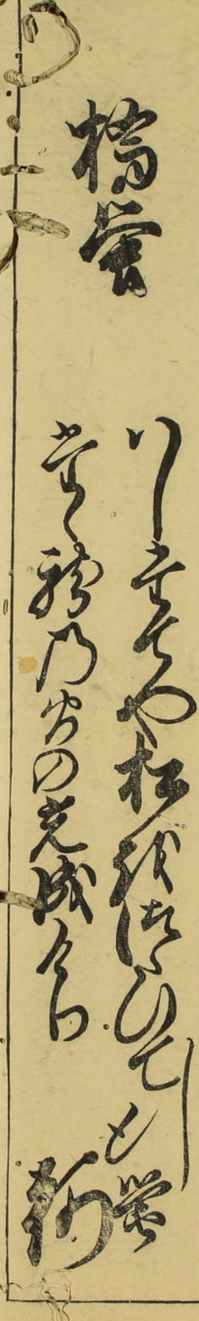


拾翠寺上人

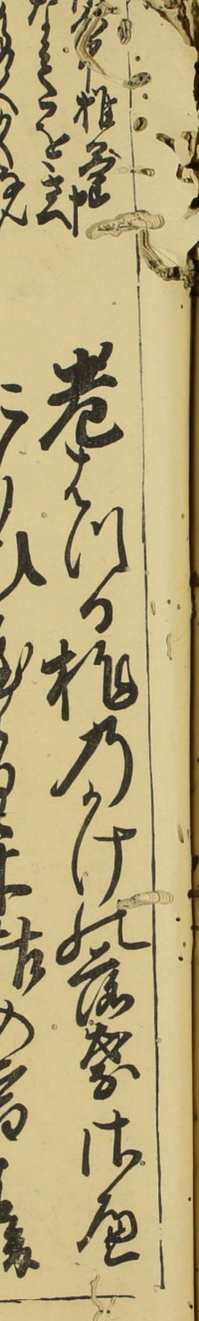


時宗

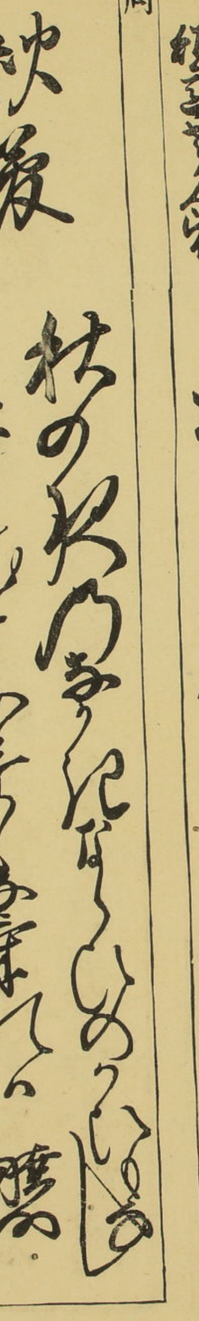
同



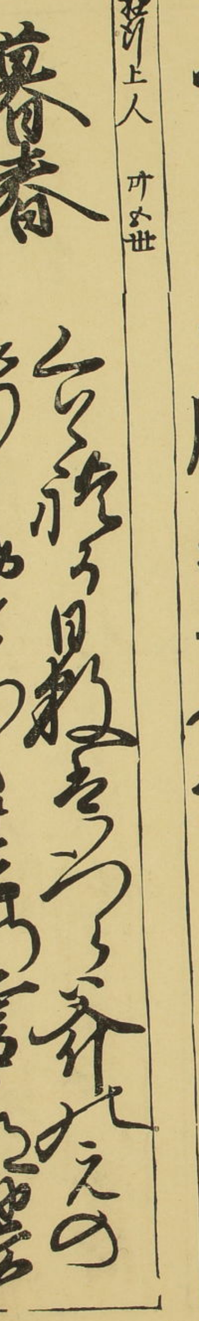
同



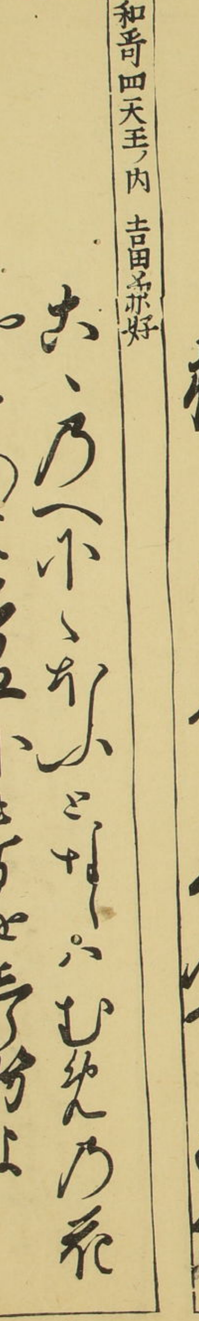
同



時宗上人　叶公世



和哥四天王ノ内　吉田弥好



同

同

同

若菜

頻阿

連歌宗匠

六角堂

宗祇執筆

連歌宗匠兼哉

兼載素純

同

清川　秋雪

月の内木の葉心ぁれ　蓮

同

隠逸

和寄前法下　類　後去沖門院

門多芳當徒院　新續古今隠名ノ作者

寄玉恋

戀地儀

同　竟知

秋夕

薩摩

同

七夕

同

同

松上藤

八

山中水

同閉字

山花

同

舟

サ右

同閉字

山村燈

同

曉月

同

名遂

同

行路萩

同

新入源氏物語と桜の巻を書写るるころ尼ス荘冊先近き竹
筆にそめんよすがや折しも酒のあるかの義

惜恋

同

あかもちふしむすひすてし紙
うすくこくとも夢かよいそめし
あきさ世りおく人もなかり郭逸安

同

花のあるじをおもひやれみちの
ちりをもとめてこし雪のゆふ 麦

同

秋土安穏天人常充滿相當七回忌作歌
一章逸奉祈讃像
佛縁西巴

月をめでて

同

梅薫神

同

野宿

同

寥野亦

思ひの寥

同 時宗

寥深

山葉

同 宗節

人待亦

同

亘根

絶亦

同

慶寿

何方

同

郭公

同

花漸盛

同

風さそひゆきの湊をあとに舟よ
こぞ拍子そのまゝ雪仍

同

いく秋を人の栖へ花と福神

同

きてあれと見えぬ雪を初雪　二津

同

いくたひも寺あるしもちの雪
　　志明

同

風乃ふき来葦ノ池の千鳥かな
　　仲尚

同

元日見やこゝろもとまで乃春之雪後

同

なをゝくてあるくよりしも梅ノ
梢うみくたる月雪哉　等

同

浅茅露　あるくせの父のあくれを
ひろひ浅茅生哉　義

同 梢屋

永日 へわひ

同

ちる花乃

やすめやす

同

春日

同

ちる梅てや

同

寛永三年
元日 来

同

霜の毛

同

愚花 苦

山窩俳諧師 犬飼没作者

侍

豊臣太閤之吉公

同 内大臣

金吾中納言殿

宰相殿秀秋

右同断

今川殿

同

首夏風

同 氏文法ヲ以

月

同 刑ヲ女婦ヲ以テ 絞殺ヲ言也

遠尋
山花

蒜井ヲ 近ヲ以 形ヲ人新流ヲ以テ入

寒菜

副廣

拔ヲ以テ

雲林

木偏ヲ

毛氈

市郎位馬守ヲ以 頭ヲ廣

猫

山名ヲ

時雨

寄席之

同

同

同

同

同

同

同

蚊帳

同

同

同

稲妻

恋

同 蒜葉売女 関寛村作者

待乳

同 三界

同内

緑摩山

同 武田四郎兵衛

夏水

同 赤松兵衛

新緑雨

同 蒲祐清兵衛

神楽

霧

同　新築坂ニ入

月前燈

江州舟若ゟ

山家

同

野籬

佐ゝ木京極ゟ

巖蹄晴

朔令ゟ

む

蟋川左

同

新古今撰者之歌為正治後度

同

同

伊勢守左

同

同

大納言

同

題柿本資定

長州　二宮太多　題岡

古郷　草枕

同　大宮司

煙火　旅寝も古き秋の

称光院　夜ぞ更ゆく

大内義

美代乃久　さ夜ふけ

花のうみ　月

陶安房守

暁眠　秋風

菊党　なき床は

同　上杉房

田家雨　秋の雨

大内義　内室歌師

清　ふきよ

仁保大炊介　題　柳原資定

遠心　夏機

伯耆守

手島　そよ

相良青景越後守

古今云
[illegible]
[illegible]
[illegible]

青景越後守

初鰹　松風

[illegible]
[illegible]
[illegible]

内藤多

河　水

[illegible]
[illegible]
[illegible]

同

雁　山の

[illegible]
[illegible]
[illegible]

同

霞に鳴く生馬目も

[illegible]
[illegible]
[illegible]

竹中左ノ介多

弘法　帰朝

[illegible]
[illegible]
[illegible]

同

[illegible]
[illegible]
[illegible]

同

[illegible]
[illegible]
[illegible]

阿波守多

弘法　帰朝

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

内蔵寮人々　頌　内裏内侍物語通

大内々内　生々歌

初もみぢ　西月まだ
雲ふかき　内裏の
小野の　隆

松原々　新院御作者

寄物恋

乱水　たのめても
うらみても　風よ
そよや　甘露寺

竹中将庫々

寄衣恋

神な月　布乃
はつたて　今
うつろふ　の
夜の　為守
秋の風　興國

紅見河内寺々

寄傘恋

傘　身は
さゝぬ　世乃
ひとや　恨
人の　元綱　落濕

出山民子補々

寄扇恋

扇哉　涼
風千鳥　書
風　おも
ふ　五
さ

秋々々

寄山恋　ちゝ
ひろ
ゆく　乃
元頼

とく落ちる滝もあり
まとうけ共り
森乃雫哉

一村のとりれ
もしき秋のを
ん

森

山雪

と初ん
おりけか

雪ふりつもりし山ぞ雪ふかき
月もさやけき秋の夜の空

月明

雲薄く月もさやけき秋の夜
ほのぼのとあけ行く山の端

雪中

独居

少人のとり
わびてい

ふかくや

冬之日

吹

深山

おり

春雨

やう

大江安房大輔家

忘憂

田原外張身家

雪間初鷹

土教五帝之内

初鷹

大納言越後守家

子日

地黄帝力家

梅

岩山家

初花

北条小次守家

入社儀

半井安昌朝家

十市令　判任

右府　春の初や
春月み
よしの

惟宗令　頴原杉院

蓼　古郷をはるかに人こそ秋なれ
旧郷の山もあひのこの小　蓼吉

東野州

今宵月
いてもわすれ

同所一家

寂寥
今宵

十乃秋の雪を時雨て秋立月
ちるおとかなめくまて亭

豊統卿

田家人
まもるつくり

敦光卿

山家

多賀城守

時雨降
ちるもみぢ

松永陣営

蓑毛蓬

世の中
むの秋

なにがし

蓮

伊達陸奥守公

郭公

国御守公

月

鳴津公

岡本何某公

毛利公

山杜鵑

岡本何某公

春人のまち

代間一郭高楼

岡崎公

春山 天歳

来青館補公

先

小堀遠江守殿

手の

同沖見大和守殿

信長公右筆

依恋

徳善院玄以法印内梅軒

鳥飯

新林家

和久井孫兵衛尉

松

家康

伊奈熊蔵忠次

伊奈忠次組の御小人

清

帝喜

小野林通

梅風　梅のそれもちくさぬほどきは
　　めずらしきかをとうとぶ雪のみな

板倉伊賀守勝貞　四九

思ひかねおもはぬ事もなきものを
　　おもふ君

歎冬　さきそめし花にうつろふ露おけなふきおろす庭の雪

一切之數　百二拾六
一組冊數　六百拾六
都合七百五拾二冊　墨付百八枚

右之分板刻之上令校合者也

寛政四年壬子秋日　　筆者　稱觀子真

願主　京　二條御幸町五倫書屋
　　大坂　堺筋今野町稱屋
　　南傳馬町一紀伊國屋

板本　勝山藏